

八街市地域公共交通網形成計画 の目標達成状況について

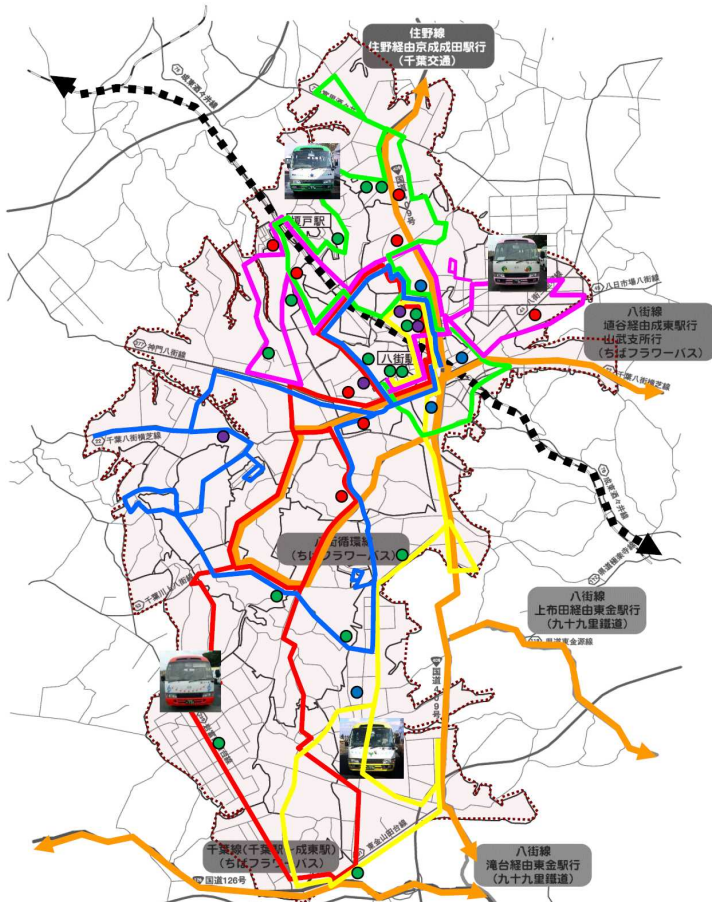
八街市の地域公共交通に関するこれまでの取り組み

平成28年3月 八街市地域公共交通網形成計画の策定(目標:平成32年度)

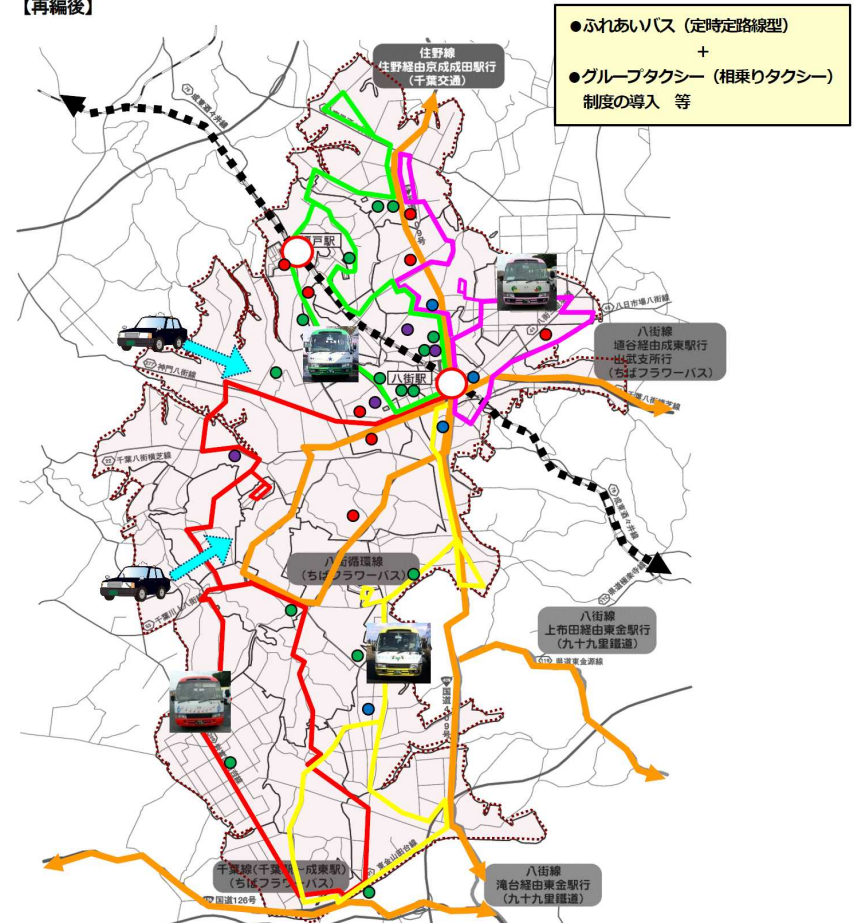
5ルートだったふれあいバスを4ルートとする再編を軸とした、市全体の公共交通計画について実態調査を踏まえて策定

■再編イメージ案

【現在】



【再編後】



地域公共交通網形成計画の目標達成状況

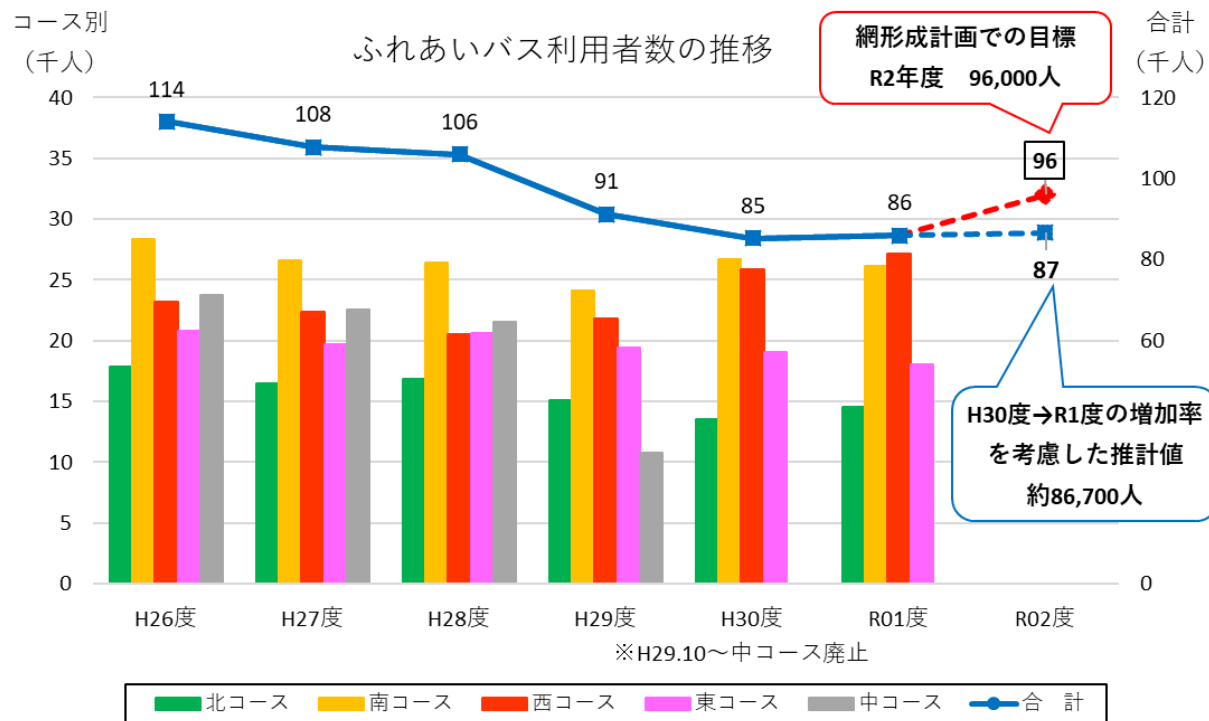
本年度が八街市地域公共交通網形成計画の目標年度となっていることから、網形成計画で設定した目標値の達成状況を整理

地域公共交通網形成計画における目標値と実績値

評価指標	指標の定義		策定時現況値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)	実績値 (令和元年度)
年間バス利用者数	市内を運行するバスの年間利用者数	路線バス	1,263,232人	現況値	集計中
		ふれあいバス	114,036人	96,000人	86,000人
市財政負担額	公共交通に係る市の年間財政負担額		48,065千円 (H26 公共交通対策費 ふれあいバス運行 事業費決算ベース)	現況値の 範囲内	48,931千円
公共交通に対する満足度	アンケート調査による公共交通に対する満足している人の回答割合		8.1%	10%	10.7% ※平成30年度 市民アンケート
高齢者の外出時に困っている割合	アンケート調査による高齢者の外出時に困っている人の回答割合		16.2%	10%	※P.7参照
地域の実情に合った地域交通の取組	地域懇談会・シンポジウム・アンケート等の実施回数		—	5回 (年1回)	説明会3回 アンケート5回

地域公共交通網形成計画の目標達成状況

- 平成29年10月に中コースが廃止され、5コースから4コースでの運行となった為、平成30年度にかけてふれあいバス全体の利用者数は減少傾向。
- 令和元年度は微増傾向となっているが、網形成計画における目標値の96,000人には届いておらず、令和元年度のふれあいバス利用者数では86,000人となっている。



- 利用者数推移をコース別に見ると、旧中コースをカバーした西コース、南コースでは再編前に比べて、利用者が増加。
- 東コースでは再編前から減少傾向、北コースは再編後減少したがその後微増傾向にある。

図 ふれあいバスの利用者数推移と網形成計画における目標値

地域公共交通網形成計画の目標達成状況

□ 利用者が減少している北・東コースについて

- ①利用者が少ないバス停の存在（利用者「0」のバス停が連続している）
- ②外出支援タクシー制度の利用状況（市中心部で利用者が多い）

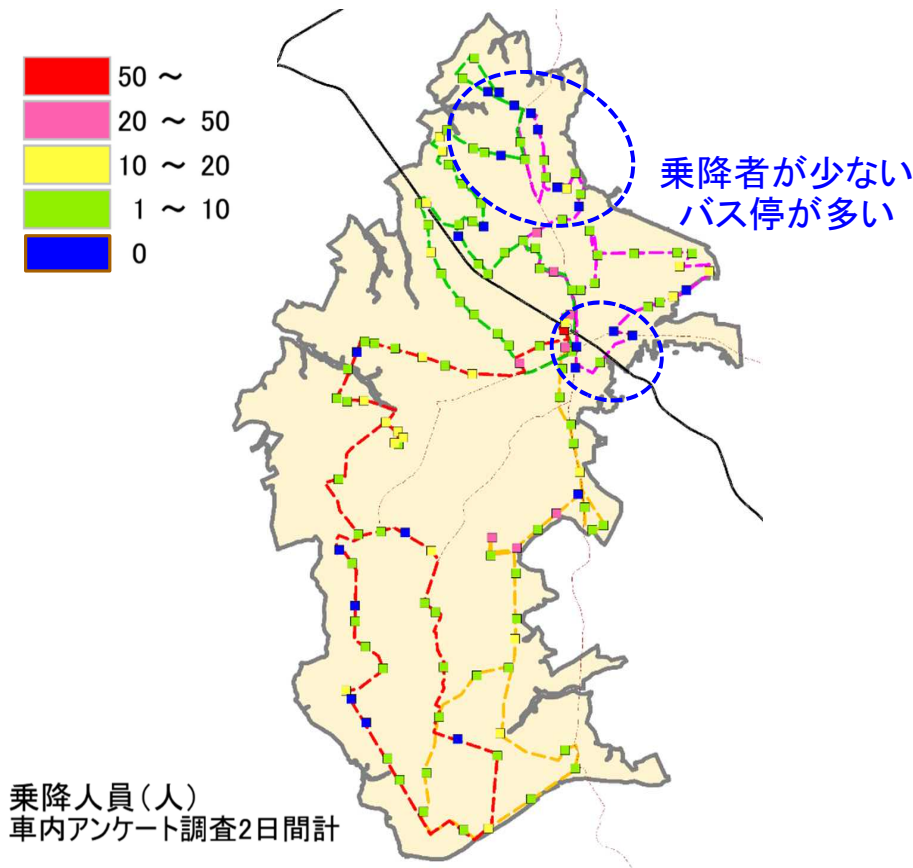


図 乗降がないバス停(R1年度車内アンケート調査結果)

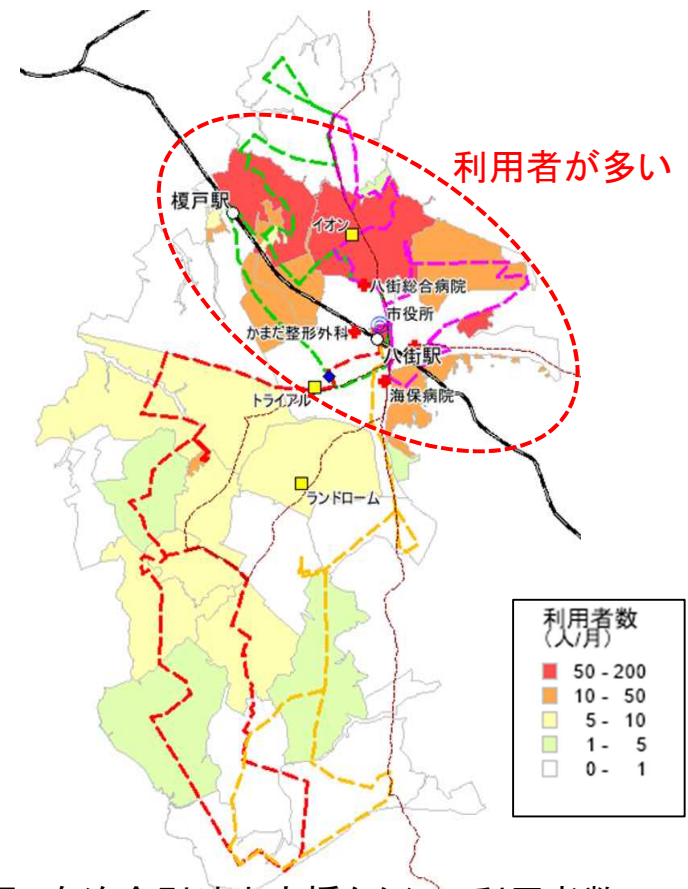


図 自治会別外出支援タクシー利用者数
(R1年度アンケート調査結果)

地域公共交通網形成計画の目標達成状況

- 網形成計画策定及びふれあいバス再編前後における八街市の財政負担額は国庫補助金を除くと同規模で推移している。
- 公共交通施策関連では、ふれあいバスは1コース減による経費節減、フィーダーシステム国庫補助金（地域公共交通確保維持改善事業）により市の財政負担は減少
- 高齢者外出支援タクシー制度の利用者増により市の財政負担は増加

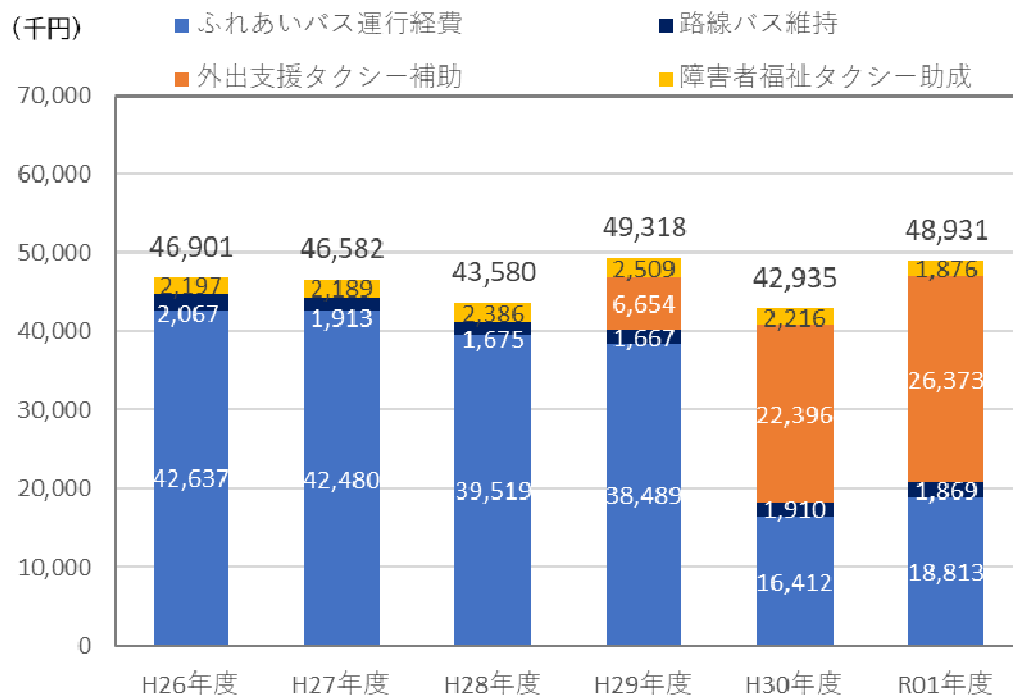


図 八街市の財政支援負担額の推移

- 路線バスとふれあいバス等「公共交通施策」に関する財政負担は減少傾向
- 外出支援タクシー補助等「福祉施策」の財政負担が急増
- 市民の『移動支援全体』における市の財政負担のあり方について考える必要がある

※平成30年度以降はふれあいバス運行経費に国庫補助金が適用されている

H30: 19,828千円

R01: 20,928千円

※国庫補助金については令和3年度までの適用

地域公共交通網形成計画の目標達成状況

□ 公共交通に対する満足度、高齢者の外出時に困っている割合

- ①公共交通に対する満足度は、平成30年度の現状値は「満足」と「やや満足」を合わせて10.7%で、目標値は達成しているものの、不満が58%、やや不満が24%と以前と高い割合になっており、公共交通の利便性向上が求められている。
- ②高齢者の外出時に困っている割合は、八街市高齢者福祉計画（H30～32年度）によると、高齢者が外出時に困っている地区別の割合は、市北部及び南部では網形成計画策定時よりも困っている割合が高まっている。

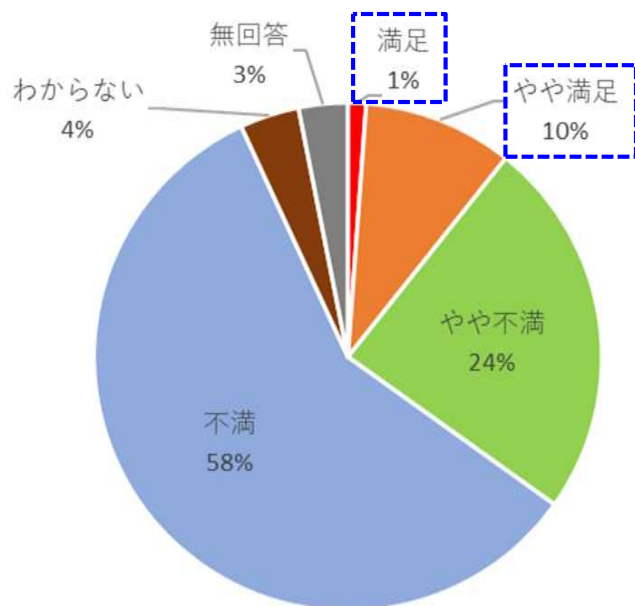


表 高齢者が外出時に困っている割合(八街市高齢者福祉計画)

中学校区	困っている割合
八街中学校区	13.3%
八街中央中学校区	15.4%
八街北中学校区	16.6%
八街南中学校区	18.8%

図 公共交通に対する満足度(八街市総合計画2015後期基本計画)

八街市地域公共交通網形成計画の評価と課題

評価

網形成計画策定により、ふれあいバス再編、駅の交通結節点強化、高齢者を対象とした移動支援策が推進され、公共交通に係る市の財政負担軽減など、公共交通を支える仕組み構築ができたことは一定程度の評価ができる。

課題

①ふれあいバス北コース・東コースの利用者数の減少

→利用者ニーズの把握、ニーズに合わせた運行内容の検討

②高齢者外出支援タクシーの実利用者数の増加に伴う、公共交通の利用選択肢の分散

→利用者にとってそれぞれの利便性と役割を再提示し、ふれあいバスの利用促進に繋げていくための検討

③路線バスを含めたふれあいバスの乗り継ぎ利便性の向上

→ふれあいバス、路線バスの運行ダイヤを整理し、新たな乗り継ぎ可能性の検討